

PP2C 活性化作用を有する抗癌剤

岩手大学農学部応用生物化学課程 准教授 木村賢一

連絡先 E-mail: iptt@iwate-u.ac.jp

TEL: 019-621-6494

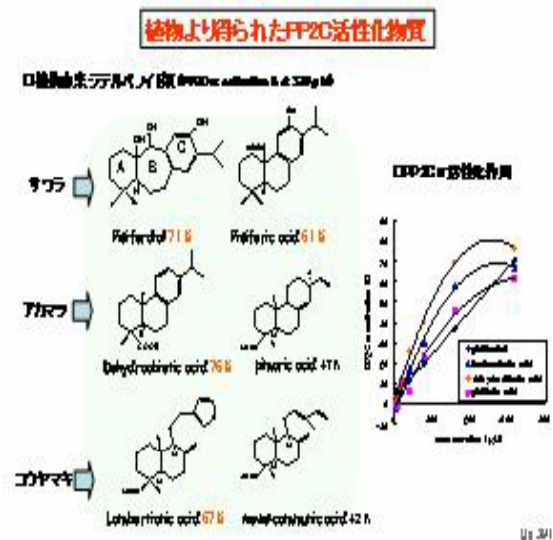
キーワード: サワラ、松、コウヤマキ、ジテルペノイド、PP2C
Ca²⁺ シグナル伝達阻害、生活習慣病

概要

植物のサワラ、松、コウヤマキ由来の抗癌活性が期待できる、ジテルペノイド系のPP2Cを活性化する成分です。

シーズの特徴

特異的な活性化剤や阻害剤が未だ知られていない、PP2C (タンパク質のセリン・スレオニン残基を脱リン酸化するプロテインフォスファターゼ2C) のスクリーニング系を用いて、各種天然有機化合物の活性の有無を調べ、サワラ、松、コウヤマキからPP2Cを活性化してヒト癌細胞にアポトーシスを誘導する物質を単離精製し、新たなメカニズムの抗癌剤として特許申請した。骨粗鬆症に対する効果も期待できる(別途特許申請済み)。



これまでの活用事例・技術移転

研究者からのメッセージ

- ① 機能性物質自体の医薬品の母核や医薬品としての開発
- ② PP2C活性化作用を有する研究試薬

参考情報: 関連特許「PP2C 活性化作用を有する抗癌剤」、特開2008-214252.

資料: 木村ら、「酵母でスクリーニングされた植物由来のCa²⁺シグナル伝達阻害物質」、バイオサイエンスとインダストリー、64, 214-218, 2006

問い合わせ先: 岩手大学地域連携推進センター E-mail: iptt@iwate-u.ac.jp

Tel: 019-621-6494